

# 彩が丘社協だより

第33号

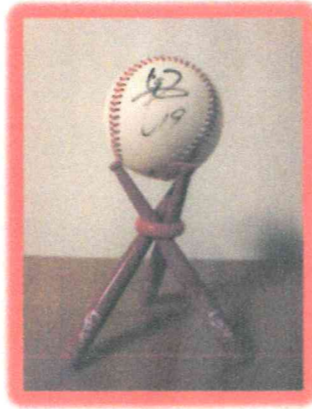
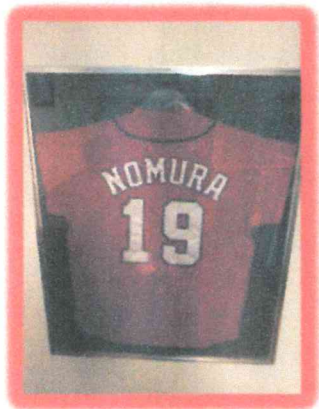
発行:彩が丘学区社会福祉協議会  
発行日:令和3年5月25日

## カープの野村祐輔君へ

5月3日の昏下がり。前日の阪神戦で、逆転満塁ホームランを打たれ、ベンチの片隅で虚ろな眼差しで放心状態の君の姿が目につく。

頑固なまげに負けず嫌いの心を察するに、辛かったろう。一部のファンの厳しい声を耳にしながらい「しっかり自分の投球ができるように準備していきたい」(中国新聞)との冷静なコメント。その言葉の裏には君なりの強い意志を感じる。

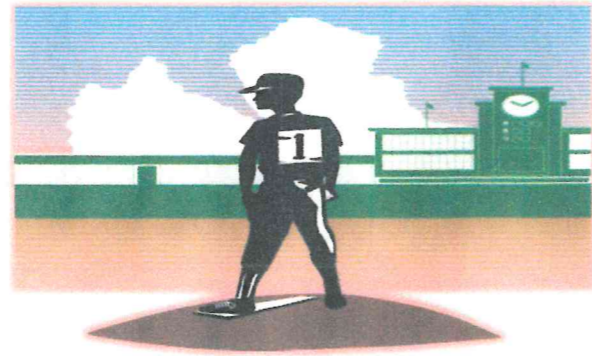
気分転換のために、14年前の甲子園準優勝の記念球と球場の砂、そしてカープ入団時にサインしてもらったユニフォームとボールを眺めながら懐かしい想いにふけりた。



実は、君だけでなくイケメンの小林君(同志社大→日本生命→巨人)、主将の土生君(早稲田大→カープ)も立場は違えど私と広陵高校の同期の桜。しかも、三人がプロ野球の世界で活躍していることは私の密かな自慢。卒業前「将来はどうするの?」と尋ねた時、つぶらな瞳で「絶対にプロにいきます。」と胸中を打ち明けてくれたことも財産のひとつだ。

有言実行。卒業後、名門明治大学で大活躍し、ドラフト1位でカープに入団。その年の新人王を獲得。その後、セ・リーグ3連覇にも貢献し、全国のカープファンを熱狂させてくれた。後輩の投手陣が頑張っている今こそ、ファームでじっくり調整するチャンス。祐輔ファンと面白いマウンドが君の復帰を待っている。もちろん、私もその一。

這い上げられ野村祐輔君! (K.F)



## 季節の小窓から

### 「母の日」に思う

5月の第2日曜日は「母の日」です。その起源は、20世紀初頭、あるアメリカの少女が亡き母を追悼するために白いカーネーションを祭壇に飾ったことにあるようです。

この時期、赤のカーネーションだけでなく、「感謝の気持ち」を意味するピンクのカーネーションも花屋さんの店頭でよく見かけます。5月9日に行われたプロ野球全6試合でも「全国のお母さんへの感謝の気持ちを伝えよう」とピンクのベースの他、選手はピンクのリストバンドやバットなどを使っていましたね。

しかし、約6割を南米産に依存しているカーネーションにとって、今は受難の時。当地の気候異変や世界的なコロナ禍のために生産量が減少し、物価高騰の現象が生じています。

そのせいか、ある花屋さんに聞くと「カーネーションに代わって昨年頃から『母の日』の贈り物として紫陽花(あじさい)の鉢植えの人気が出てきました」とのこと。多彩な花色と移りゆく花色の変化美、更には「家族愛」「元気な女性」という花言葉が「母の日」にふさわしいのでしょうか。

一方、グルメ時代にふさわしいスイーツもお母さん方にとっては魅力的な贈り物であり、また、ファッション感覚豊かなアパレル商品や実用的な日傘や帽子等も「母の日」商戦に加わっています。

それにしても、「母の日」と比較して「父の日」の定着度が低いように感じているのは私だけの僻み(ひがみ)でしょうか? (K.F)

### 社協からのお知らせ

ご存じの通り、5月31日まで、広島県には緊急事態宣言が発令されています。そのことを受け、皆さんの安全・安心を守るために「いきいきサロン」「お茶の間サロン」「ヘルス彩」の活動を一時お休みしています。

コロナ感染が一日も早く収束し、皆さんと再会できることを楽しみにしています。

(彩が丘社会福祉協議会役員一同)